

daily コラム

2016年7月7日(木)

〒810-0001 福岡市中央区天神 2-8-49 ヒューリック福岡ビル7階
税理士法人かさい会計 TEL 092-771-4421 FAX 092-771-1417
Email info@kasai-grp.co.jp

“ベンチマーク”の活用

“ベンチマーク”とは、「社会の物事のシステムのあり方や規範としての水準・基準など」を意味しますが、企業における課題解決を図る場合は、「競合他社などの優れた経営手法（ベストプラクティス）を持つ企業を分析するプロセス」を指し、さらにそのような「優れたシステムそのものを自社版に置き換えて応用すること」を指します。

目標管理制度改善の“ベンチマーク”

“ベンチマーク”を目標管理制度の改善、改革に応用するケースで考えてみましょう。目標管理制度は、重要な経営管理システムのひとつで、業績管理制度ですから、一般的には次のような課題が挙げられます。

大きな視点から課題を設定する場合

- ① 目標管理制度の活用目的明確化
- ② 目標管理制度のコンセプト設定
より具体的な視点で課題を設定する場合
- ③ 目標設定の方法
 - ・ 経営貢献度を高める目標設定
 - ・ 効果的な共同目標の設定方法
- ④ 目標達成プロセスのマネジメント
- ⑤ 評価基準の設定方法
 - ・ 貢献度評価の方法
 - ・ 絶対考課・相対考課の使い方

- ・ チームワークの公正な評価方法
- ⑥ 人事賃金制度との関連付け
 - ・ 目標管理制度と等級制度の関連
 - ・ 目標管理制度と賃金制度の関連
 - ・ 目標管理制度と人材育成制度の関連

自社の目標管理制度の運用実態に基づいて、「どこが、どのように問題なのか」を見据え、その解決を課題とすべきです。

“ベンチマーク”の手順・ポイント

改善・改革を必要とする課題を明確にした後の手順は、次の通りです。

- ① 課題に関する他社の目標管理制度に関する情報を、外部の事例発表会・専門情報誌・講演等から収集する。
- ② 他社情報から得た情報を評価する。
(自社の課題を解決できるか。)
- ③ “ベンチマーク”とすべき優れたシステムを特定する。(単一とは限らない。)
- ④ 自社のシステムを改善・改革する具体案を作成する。
- ⑤ 改善・改革したシステムを一定期間実際に適用して、効果を検証する。

単なる“真似”に陥らず、的確に自社の課題解決を実現することが大切です。



“ベンチマーク”
で課題解決！